

特ラ機構レポート No.180

令和3年5月1日

令和2年度 第6回理事会 報告	2
運用連絡と調整の総件数	8
新規加入会員紹介コーナー	13
イベントの情報	17
東京オリ・パラ競技大会組織委員会から 会員の皆様へのお願い ..	18
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた 電波発射について ..	19
八幡泰彦名誉会長 追悼文	20
八幡泰彦 プロフィールと業績	24
事務局 便り	26



[理事会報告] 令和2年度 第6回理事会 [リモート会議]

1. 日 時 令和3年4月14日(水) 15時～17時
2. 場 所 中野サンプラザ 15階 エトワール
3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22名)
出 席 [理事長] 渡邊邦男
[理 事] 石橋 透, 上田好生, 小野良行, 小俣公洋, 北口紀雄, 小林 敬, 小間新五,
鈴木久利, 瀬谷正夫(橋本喜代志), 永谷俊之, 西澤勝之, 萩原桂吾
[監 事] 伊藤 博, 國枝義久
委任出席 [理 事] 池上行大, 岩井佳明, 金光浩昭, 則行正信, 本間俊哉, 右田研介, 吉田廣嗣

4. 令和2年度 第6回理事会

開催挨拶 渡邊理事長

「令和2年度では総会以来、初めての顔を合わせた理事会の開催になります。コロナ禍の続く中、ご出席頂き感謝します。

ご承知のとおり、当機構の八幡泰彦名誉会長が令和3年2月25日に長い闘病の後、84歳でご逝去されました。コロナ禍の折り、通夜・告別式は近親者のみでおこなわれましたが、「お別れの会」を株式会社エス・シー・アライアンス様との共催でおこなう事になりましたので、この場をお借りしてご報告致しますとともに、ご冥福をお祈りさせていただきます。

なお、開催にあたりましては、何より皆さまが安心してご参会頂ける時期にしたいとの思いもあり、日を置いて、改めてご案内させていただきます。

4月も半ばとなり、オリンピック・パラリンピックの開催がどうなるのかなど、大規模コンサートやイベントの開催にはまだまだ不安定な要素が残るコロナ禍の現状を見据えて、過不足のない会員への支援策を実施し、共に支え合いながら頑張っ乗り越切りたいと思います。」

との挨拶の後、令和2年度の運用連絡数の推移についての報告になった。

5. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明(理事会資料:8～11頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 特ラ機構レポート

179号は、令和3年2月25日(水)に発送済。180号は4月下旬に発送予定となっている。
内容は、八幡会長追悼記事、理事会報告、新規加入会員紹介などを掲載予定。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

今期委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和2年度技術賞の盾などの贈賞について現在準備中。整い次第、受賞者に渡す予定。

令和3年度については募集を開始し、コロナ禍の厳しい状況のなか、令和3年3月31日(水)までに、一般部門4件・学生部門3件の応募があった。審査は昨年と同様、応募資料での事前審査を実施したのち、スタジオでの最終選考をおこない、総会開催日の贈賞式に間に合うよう、スケジュールを立てて遂行していく予定。

④ 編集委員会

第84回編集委員会は、令和3年3月8日(月)に当機構事務局にて開催した。出席者は5名。179号を振り返って反省点等を確認した他、180号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

(4) 総務省関係、ARIB関連の報告

① 総務省関連

総務省移動通信課 菅野氏より令和3年3月23日(火)新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言の終了ならびにテレワークの推奨などの内閣官房コロナ室からのご連絡を頂いた。

② 各総合通信局関連

令和3年3月10日(水) 総務省 関東、信越、近畿の各総合通信局を通じて、TVWSチャンネルリストの新規検討を申請した。

③ ARIB関連

今期、該当する作業班、規格会議等は開催されなかった。

(5) TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(略称：WS協議会)

① 統合DB作業班

今期、統合DB作業班は開催されなかった。

② 幹事会

令和3年3月26日(金)、Web会議にて「第54回幹事会」が開催された。主な議題は以下のとおりで、それぞれについて事務局からの説明があり、質疑応答の後、承認された。

(1) 令和2年度活動状況及び経理状況について

(2) 令和3年度収支予算について

収支予算案の中で、新型コロナ禍に際しての会員支援として、令和3年度のWS協議会負担金(運用調整費)の減額が提案された。当機構の対応状況及びWS協議会の資産運用状況を踏まえて、1.5か月分の減額案が採用となり、令和3年6月16日(水)の幹事会と同月29日(火)の総会にて諮られる見込みとなっている。

② WS協議会負担金の支払い状況

令和2年度のWS協議会負担金(運用調整費)について、合計26,861,400円となった。また、令和2年度第3～4四半期のWS協議会負担金(登録費・運用調整費)については、第3四半期が合計105,250円、第4四半期が合計120,300円となった。上記のすべてについて、令和3年4月5日(月)に支払いをおこなった。

(6) 情報通信月間協議会報告

令和3年3月19日(金)、Web会議にて「第1回運営連絡会」が開催された。主な議題は以下のとおりとなっている。

- ・2021年度情報通信月間行事実施計画及び予算
- ・2021年度情報通信月間テーマについて
- ・2021年度情報通信月間行事の応募状況等について

それぞれについて事務局からの説明があり、質疑応答の後、承認された。

(7) 令和3年度の再免許手続きの進捗状況

令和3年度の再免許申請手続き業務は、248会員5,626局にて終了となった（自社申請は7会員92局）。前年度と比較すると、329会員減り、局数は15,958局減という結果となっている。減少の原因については、前年度は周波数移行に伴う終了促進措置によって、一定期間中に集中して取得された無線局免許が再免許を迎え、通常より対象局数が多かったことによるもの。

新しい免許状は当機構にて内容を記録の上、5月下旬に当該会員へ発送する予定となっている。

(8) 東京オリ・パラ組織委員会

令和3年3月10日(水)と同月25日(木) 総務省、オリ・パラ組織委員会、関係諸団体とのWebミーティングに、渡邊理事長、石川統括チーフ、甲田テクニカルチーフが参加し、東京大会に於けるワイヤレス関連の現状ならびに大会期間中の調整に関する概要などについて意見交換をおこなった。

(9) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

現在、実証実験が実施されている、東京・名古屋・大阪・福岡地区に加え、令和3年3月1日(月)から三重県津市(UHF25ch)で、3月10日(水)から伊勢市(UHF25・35ch)で実験が開始された。

また、名古屋地区(愛知県弥富市)においても実験が行われていたUHF35chに加え、UHF25chを使用した実験が3月16日(火)から開始された。

新たに開始された地域の電波発射について、影響のある固定会員ならびに移動会員をピックアップし、封書で事前通知をおこなった。

試験電波発射のスケジュールにおいては、今後も当機構ホームページおよび特ラ機構レポートで随時告知していく。

(10) 短信、その他

① ホームページ更新

今期は、最新号の特ラ機構レポートとチャンネルリスト新規追加分の定期更新をおこなった。また、トップページおよびお知らせページにおいて「NHK放送技術研究所 伝送実験」についての案内をアップロードした。

② 運用連絡票・運用連絡について

令和2年12月～令和3年2月の3か月間で運用連絡票の提出に関する間違いや直前の提出などの集計を取ったところ、全体の約8%に誤記入や記入漏れ、直前の運用連絡票の提出が見受けられる事が解った。混信の干渉報告にもあるように、運用連絡票の直前提出や出し忘れと思われる混信が発生している為、新年度にあたり会員側の担当者の変更や新入社員も増える事から、レポート送付時に、別紙として注意喚起をおこなう旨のお知らせを封入する予定となっている。

③ チャンネルリストの修正について

令和3年3月29日(月)TVWSチャンネルリストの新規ならびに追加データが登録された。また施設名称の修正をはじめ、住所表示の変更などもおこなわれた。

④ NHK 技術研究所 UHF 実験試験局の運用について

地上デジタル放送波 TV31ch,34ch を使用した伝送実験が世田谷区砧のNHK技術研究所にておこなわれる。

TV31ch (実験局名 NHK 砧 UHF 実験 2 - 31ch)

令和3年4月1日(木)～6月18日(金) ※土、日、祝日は除く

時間 9:30～18:00

出力 10W

TV34ch (実験局名 NHK きぬた UHF じっけん)

令和3年5月24日(月)～6月18日(金) ※土、日、祝日は除く

時間 9:30～18:00

出力 1W

都内(世田谷、渋谷、新宿、目黒、千代田等)での同TVchを使った特定ラジオマイクの運用に関しては、地下スタジオや建物遮蔽損の大きな施設では特に問題はないと考えるが、ビルの高層階や遮蔽損の少ない施設等については、運用の前に電波環境を確認することをお願いしたい。

⑤ コロナ対応での事務局のスペースについて

書類、機材、職員が雑多に同室していた3F事務局の上のフロアーが空室になったため、新型コロナウイルス感染拡大防止をきっかけに、令和2年10月から新たに賃貸契約し、書類、機材、職員配置の整理をおこなった。4Fは今後、会議室としても有効に活用する

⇒以上の報告事項について、出席理事全員の承認があった。

6. 【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和3年2月～3月分

【入会】

東 北：酒田市(酒田市民会館「希望ホール」)

関 東：住友不動産商業マネジメント株式会社(東京ガーデンシアター)、ヒューリックホテルマネジメント株式会社(グランドニッコー東京ベイ 舞浜)、一般社団法人700MHz利用推進協会、合同会社ロア、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリ

ゾーツ（横浜ロイヤルパークホテル）、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立能楽堂）、安井 孝志、瀬川 徹夫、キノテック株式会社

北 陸：LFI 株式会社

東 海：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（一宮市民会館）、株式会社テトラテック、有限会社まさき

近 畿：兵庫県（芸術文化観光専門職大学）、株式会社キョードーファクトリー（箕面市立文化芸能劇場）、姫路市（姫路市文化コンベンションセンター）、株式会社華王殿（ウエディングテラス）

中 国：山口市（山口市産業交流拠点施設）、株式会社ちゅピ COM

【退 会】

関 東：住友不動産ベルサール株式会社（東京ガーデンシアター）、株式会社ミックスゾーン、株式会社東京ベイホテルズ（東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート）、株式会社プラグ・イン、株式会社 WISE CORPORATION

東 海：株式会社名古屋共立（一宮市民会館）、株式会社 PMC

近 畿：有限会社井上音響企画、株式会社ビデオソニック（華王殿）

中 国：株式会社メディア中国

※「退会数は多いが、ほとんどが施設の指定管理や運営会社の変更等による退会であり、新しい法人での再加入も多い。」との補足が免許担当者からあった。

（2）会員数

令和 3 年 3 月末現在 1,461 会員

（3）無線局数

令和 3 年 3 月末現在 45,927 局

〈内 訳〉

① 470 ～ 714MHz 帯

ラジオマイク 34,838 局

イヤーマニター 2,494 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 8,595 局

合 計 45,927 局

（4）令和 2 年度収支計算報告と令和 3 年度会員支援

令和 2 年度収支計算書

資料による令和 2 年度収支報告があった。

【令和 3 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛による会員への影響支援】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による会員への影響は令和 2 年度にとどまらず、令和 3 年度にも続くものと推測し、会員を支援するため、昨年度に続き支援措置をとる事が下記の理事会にて審議決議された。

令和2年12月2日(水) 令和2年度第4回理事会
令和3年2月3日(水) 令和2年度第5回理事会
令和3年4月14日(水) 令和2年度第6回理事会

【会員支援の内容】

- ① 令和3年度の年会費・運用調整費を1.5か月分減額する。
 - a. 運用調整費減額計算の基準は令和3年3月31日の保有局数とする。
 - b. 令和3年度の請求書は支援措置が総会で承認された後の発送とする。
- ② 令和3年度の年会費・運用調整費の納入期日を延長する。
例年7月31日が納入期限(令和2年度を除く) → 10月29日(金)までとする。
- ③ 納入額の分割納付 → 9・10・11月の3か月で分割納付を可能とする。
(9・10月が0円で、全額11月納付は認められない。)

(5) 令和3年総会議案書

令和3年総会(令和3年6月11日(金)予定)のため、全会員に送付する総会議案書の内容について、資料に則り説明をした。

- ① 令和2年度事業報告(案)
- ② 令和3年度事業計画(案)

⇒ 以上の審議事項(1)～(5)について、審議の結果、出席理事全員の承認があった。

【質問・審議】

・オリンピック・パラリンピックでは、どう周波数を使っていくのか決まっているのか。

甲田テクニカルチーフ：各ベニューに於ける周波数の割当て等、周波数利用については総務省ならびに組織委員会が担う事になっているが、現況では不明確な点も多い。

会場周辺での運用に関しては、早めの申請及び運用調整に関するご理解、ご協力を賜りたい。

【その他】

・旧スプリアス規格の無線機器について

事務局から総務省関連の動きとして、使用期限が令和4年11月30日となっている旧スプリアス規格のB型ワイヤレス機器などについて、総務省では新型コロナウイルスの影響を鑑みて、使用期限の延長を検討中との報告があった。

なお、現在はパブリックコメントを募集している段階なので、正式に延長が決定した際に改めて報告をすること。また、特定ラジオマイクは、周波数移行の際に新スプリアス対応機器へすべて交換済みであること。以上、2点の補足説明があった。

次回理事会(予定)

日時：令和3年8月4日(水) 15:00～17:00
場所：中野サンプラザ 6階 フラワールーム

運用連絡と調整の総件数

2021年2月～2021年3月
理事会資料 R2-6-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数（新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数 ※2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

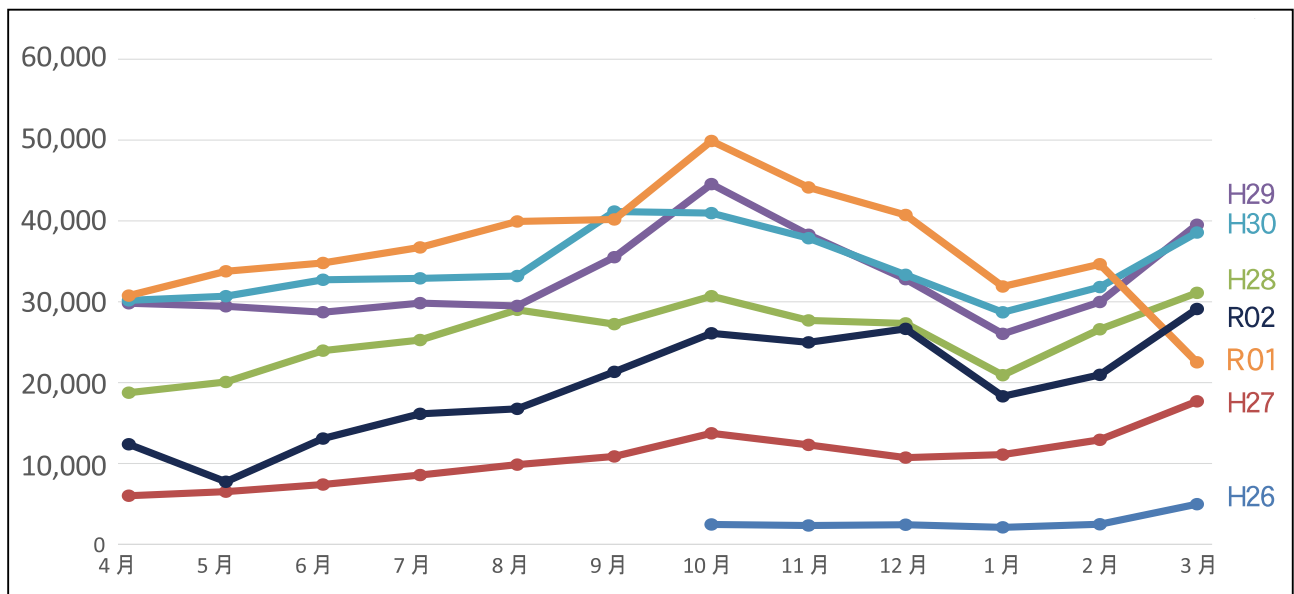
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867

前年との差 (-13,685) 6,599 (-206,540)

コロナ禍の期間		(1) 2ヶ月間の総件数を比較	
年計の総件数を比較			
2019年度	444,947	2020年2月3月	57,975
2020年度	238,407	2021年2月3月	50,889
増減	(-206,540)	増減	(-7,086)

1ヶ月間の受信数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前	13,954	14,708	15,290	15,302	15,914	16,577	18,593	18,407	16,023	13,146	14,491	10,788
当	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475	12,324	8,896	10,125	13,374
増減	(-8,079)	(-10,712)	(-8,252)	(-6,533)	(-7,148)	(-5,786)	(-5,959)	(-5,932)	(-3,699)	(-4,250)	(-4,366)	2,586

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



2. 前年同期（2020年2月～2020年3月）と当期（2021年2月～2021年3月） 運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

前年同期に比して、**7,086** 件の**減**となった。（11 都府県に緊急事態宣言）

受信・送信 2ヶ月間の比較					
前々期 2018年度(2月～3月)		前年同期 2019年度(2月～3月)		当期 2020年度(2月～3月)	
受信数	28,668	受信数	25,279	受信数	23,499
送信数	42,544	送信数	32,696	送信数	27,390
計	71,212	計	57,975	計	50,889
比率(送信/受信)	1.48	比率(送信/受信)	1.29	比率(送信/受信)	1.17

（2）1ヶ月単位での運用連絡受信数と調整送信数を含めた総件数について

COVID-19の影響で2020年度4月の運用連絡【受信数】は前年比8,079件減の5,875件に激減、運用総件数も12,780件に落ち込んだ。5月は過去4年間で最低の件数になったが、それ以降12月までは若干の落ち込みを除き、徐々に前年月との差を縮めていた。しかし1月に2回目の緊急事態宣言が出されたこともあり、1月から3月までは、昨年（**橙色**）、一昨年（**水色**）の折れ線グラフとの平行線を保つ状況に留まっている。

最後まで残っていた1都3県の緊急事態宣言は、紆余曲折の末3月21日に解除されたが、変異ウイルスも含めたりバウンドもあり、予断を許さない状況にある。感染防止策を十分に施したエンタメの開催が増えることを期待する。

（3）2ヶ月間の連絡（受信）件数に対する調整（送信）件数の比率について

運用連絡【受信数】を見ると、前々年同期（28,668）、前年同期（25,279）に比べ、当期（23,449）は減少している。

連絡件数に対する調整件数の比率でも、前年同期の1.29倍から1.17倍に下がっている。

3. 各年度月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

※ 2017年度以降のデータは2019.12.02時点で再集計。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
前年との差	-18,392	-26,045	-21,728	-20,593	-23,184	-18,859	-23,795	-19,174	-14,093	-13,591	-13,685	+6,599	-206,540	-17,212

2019年度と2020年度の比較		
	1年間の合計	1ヶ月の平均
2019年度	444,947	37,079
2020年度	238,407	19,867
	(-206,540)	(-17,212)

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント (令和3年2月～令和3年3月)

イベント名	日程	施設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
国際ホテルレストランショー HCJ2021 他	2/13 - 2/18	東京ビッグサイト	7	7	15	2	13	30
TOKYO PACK 2021- 東京国際包装展	2/21 - 2/26	東京ビッグサイト	7	7	8	0	14	22
※アニメジャパン 2021	3/27 - 3/30	東京ビッグサイト	7	9	94	4	20	118

運用局数 20局以上を表記 ※周波数配分イベント

令和3年2月から3月の2ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用された催事は22件あった(昨年比△53件)。これらの施設では、イベントの他にオンラインなどによるライブ・コンサートが22件(昨年比+7件)開催され、握手会・ハイタッチ会は0件(昨年比△1件)であった。

うち、インテックス大阪で3月29日(月)～31日(水)に開催された「START UP!! - ロックの春 2021-」では8アーティスト(8社)の運用連絡があり、すべて主催側の調整で運用された。

イベント報告

「AnimeJapan2021」

3月27日(土)～28日(日)東京ビッグサイト南棟1～2に於いておこなわれたイベントで、TVWS帯94局、専用帯4局、1.2GHz帯20局の周波数配分をおこなった。

3月26日(金)周波数プランをおこなった事務局平山職員が会場を見学させて頂いたが、緊急事態宣言が解除されてからすぐの開催でもあり、PCR検査をおこなったスタッフ関係者と、検査をおこなっていない来場者との接触をさけるなどの対策が、厳格にとられていた。

5. 干渉報告

【報告1】

2月22日(月)会員No 030-1048 竹内久史氏より連絡があり、2月21日(日)東京都世田谷区成城1-4-1 東宝スタジオ内4stにて9時から12時頃660～690MHzの帯域で干渉事故が発生したとの報告を受けた。

同スタジオのご協力を得て確認したところ、12stで運用していた他会員の事務処理の不手際から申請が行われていなかったことが分かった。

同社に対しては、電話での口頭ならびにメール文章にて注意を促した。

さいごに、調査にご協力頂いた東宝スタジオには感謝申し上げます。

【報告2】

3月8日(月)会員No 030-0781 ワイズファクトリー大村洋一氏より連絡があり、東京ビッグサイト南棟で行われているリテールテック2021の会場で、仕込み、リハ時に申請の無いラジオマイク専用帯、711.116MHz、712.185MHz、が発射されているとの事で、展示会初日の3月9日(火)同展示会場を調査したが、当該周波数の運用を確認することはできなかった。

【報告 3】

3月30日(火) 会員 No 030-0964 日本記者クラブの技術サポートを行う電音エンジニアリング(株)荒井氏より連絡があり、3月27日(土) 9:30～10:30位の間、711～714MHz ラジオマイク専用帯の帯域で干渉があり、「肉声ははっきり復調された。」との報告を受けた。

運用連絡システムを確認したところ、混信判定の出た隣接する日生劇場の運用はアナログであり、当該施設で使用していた機器が Shure ULX-D L53 デジタル方式であることを考えると、隣接する日比谷公園周辺で同じ型式の送信機により、無届で運用された可能性が極めて高いと推測する。



原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまでいなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺的话题を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です。

Email : office@radiomic.org

移動会員の運用連絡票提出忘れ・漏れによる 他局への混信が発生しています

特定ラジオマイクの運用調整に必要な『運用連絡票』（※）は、

運用 2 日前までに当機構事務局へ忘れずに提出して下さい。

※ 固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません

運用調整システムへの登録がない状況で運用したと思われる混信
現場のトラブルが発生しています。

急遽仕事が確定する事も多いとは理解していますが、日程が迫っている場合は特に、
「運用調整システムへの登録完了後、他社との運用調整が可能か」を考慮に入れて下さい。

【運用連絡票の受付時間】

平日・土曜日 9 時 30 分～ 18 時 00 分まで（日曜・祝日は休業日）

なお、連休は特別営業を実施し、その詳細はホームページで告知致します。

営業時間外に送られた運用連絡は**翌営業日の処理**となります。

特に週末や休み明けの現場には、**余裕をもって早めに運用連絡票をお送り下さい。**

運用連絡票の送付先は、rm-unyo@radiomic.org です。

運用調整システムからの自動送信メール（rf-no_reply@rf-unyo.jp）などにはメールを送らないで下さい。未達により登録できない場合があります。

また、TVWS 帯は、「チャンネルリストに記載のある施設・エリア」において、
「許可された TVch のみ」を使用する事ができます。

近隣住所にある施設などではご利用頂けません。再度ご確認をお願いします。

混信回避の為、運用調整を前提にした免許制度になります。

確実に調整までを行い、クリアな運用環境が維持できるようご協力をお願い致します。

新規加入会員紹介コーナー

令和3年2月～3月

東北

- 酒田市（酒田市民会館「希望ホール」） 会員番号 020-0055
 酒田市長 丸山 至 入会：令和3年2月4日 固定 シュア…24局
 〒 998-0043 酒田市本町2-2-10
 運用担当者 酒田市教育委員会 社会教育文化課 TEL 0234-22-3527 E メール art@city.sakata.lg.jp

関東

- 株式会社 OverTheClip 会員番号 030-1050
 代表取締役 佐川 圭太 入会：令和3年1月29日 移動 シュア…1局
 〒 336-0021 さいたま市南区別所5-15-2
 運用担当者 佐川 圭太 TEL 080-6717-1733 E メール overtheclip@gmail.com
- 日本写真判定株式会社（千葉 JPF ドーム） 会員番号 030-1051
 代表取締役 渡辺 俊太郎 入会：令和3年1月29日 固定 シュア…6局
 〒 260-0045 千葉市中央区弁天4-1-1
 運用担当者 荻原 健二 TEL 03-3265-4851 E メール ogiwar@shashin-hantei.co.jp
- 住友不動産商業マネジメント株式会社（東京ガーデンシアター） 会員番号 030-1052
 代表取締役 山本 直人 入会：令和3年2月24日 固定 シュア…16局
 〒 135-0063 江東区有明2-1-6
 運用担当者 加無木 克志 TEL 03-6457-1474 E メール tokyo-gt@j.sumitomo-rd.co.jp
 【ひとこと】2020年6月にオープンいたしました。スタンディング時約8000人、着席時約7000人収容。臨場感を体感できる4層のアリーナ&バルコニー構造のシアターです。
- ヒューリックホテルマネジメント株式会社（グランドニッコー東京ベイ 舞浜） 会員番号 030-1053
 代表取締役 高橋 則孝 入会：令和3年2月24日 固定 シュア…21局
 〒 279-0031 浦安市舞浜1-7
 運用担当者 芹川 卓 TEL 047-350-3575 E メール taku.serikawa@tokyobay.grandnikko.com
 【ひとこと】東京ディズニーリゾート®・オフィシャルホテル。エリア最大級の広さの会場を含む13の宴会場があり、ご婚礼や宴会や国際会議まで幅広い用途でご利用いただいております。
- 一般社団法人 700MHz 利用推進協会 会員番号 030-1054
 会長 柴田 克彦 入会：令和3年3月11日 移動 シュア…1局
 〒 108-0075 港区港南2-5-7 港南ビル8階
 運用担当者 堀部 晃二郎 TEL 03-6712-1956 E メール horibekoujirou@700afp.jp

● 合同会社ロア 会員番号 030-1055
代表社員 松田 規寛 入会：令和3年3月 11 日 移動 シュア…20 局
〒178-0062 練馬区大泉町1-29-7 メゾネット・エヌ2号室
運用担当者 松田 規寛 TEL 03-6310-1371 Eメール roar@ab.auone-net.jp

● 株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ（横浜ロイヤルパークホテル） 会員番号 030-1056
代表取締役 水村 慎也 入会：令和3年3月 15 日 固定 シュア…14 局
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-2-1-3
運用担当者 西 毅（株式会社テクニコ） TEL 045-225-0660 FAX 045-225-0661
【ひとこと】当ホテルはみなとみらい駅から徒歩3分、桜木町駅から徒歩5分の横浜ランドマークタワー内に位置し、横浜市内最大級の「大宴会場 鳳翔」など大小12の宴会場がございます。

● 独立行政法人日本芸術文化振興会（国立能楽堂） 会員番号 030-1057
理事長 河村 潤子 入会：令和3年3月 17 日 固定 シュア…8 局
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
運用担当者 森山 泰由 TEL 03-3423-1331 Eメール moriyama@ntjjac.go.jp

● 安井 孝志 会員番号 030-1058
安井 孝志 入会：令和3年3月 25 日 移動 シュア…8 局
〒157-0073 世田谷区砧8-25-3 ウイング成城 101
運用担当者 安井 孝志 TEL 090-9999-8730 Eメール takashiyasui0309@gmail.com

● 瀬川 徹夫 会員番号 030-1059
瀬川 徹夫 入会：令和3年3月 26 日 移動 レクトロソニックス…4局
〒195-0039 町田市藤の台3-3-3-207
運用担当者 瀬川 徹夫 TEL 042-729-5666 Eメール tsegawa1@mac.com
【ひとこと】私の年齢は77歳で、これまで百数十本の映画録音に携わって参りました。最近の映画撮影では、ワイアレスマイクの利用頻度が激しくなり、これまでB帯のみで行ってきた自分にとって、周囲の電波状況の変化に追随するのが難しくなり、今回意を決しWS帯に初めて参入した次第です。著作「三谷幸喜・脅威の120分1カットによるワイアレスマイクだけの同時録音」

● キノテック株式会社 会員番号 030-1060
代表取締役 木下 大輔 入会：令和3年3月 29 日 移動 シュア…6 局
〒116-0013 荒川区西日暮里2-25-1 ステーションガーデンタワー3F
運用担当者 木下 大輔 TEL 03-6822-3665 Eメール kinoshita@kinotec.co.jp
【ひとこと】各種イベントや展示会、MV・ドラマ等の撮影に大型LEDビジョンや音響・映像機器のレンタル・オペレートをしております。オンライン配信等の番組制作、撮影も賜っております。

北 陸

● L.F.I 株式会社 会員番号 050-0055
代表取締役 新谷 美樹夫 入会：令和3年3月8日 移動 シュア…1 局
〒921-8065 石川県金沢市上荒屋1-242-1
運用担当者 永原 諒 TEL 076-249-8911 Eメール r_naga@lfi.secret.jp

東 海

● 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（一宮市民会館） 会員番号 060-0144
代表取締役 古野 浩樹 入会：令和3年3月9日 固定 シュア…8 局
〒491-0028 愛知県一宮市朝日2-5-1
運用担当者 桑原 慎也 TEL 0533-86-9511 Eメール s.kuwahara@pandp-web.com

● 株式会社テトラテック 会員番号 060-0145
代表取締役 岡田 豊司 入会：令和3年3月9日 移動 シュア…24 局
〒482-0041 愛知県岩倉市東町東市場屋敷 210
運用担当者 内海 豊司 TEL 0587-89-0976 Eメール utsumi@tetrattech.jp

● 有限会社まさき 会員番号 060-0146
取締役 正木 隆 入会：令和3年3月25日 移動 シュア…4 局
〒470-1218 愛知県豊田市上郷町5-8-1
運用担当者 正木 隆 TEL 0565-21-8080 Eメール masaki@hm5.aitai.ne.jp

【ひとこと】豊田市唯一の音響業者として25年間頑張ってきました。遅ればせながらこの度皆様の仲間に加えていただき、法律を厳守しながら、安全な電波運用を行っていかうと思ひます。

近 畿

● 兵庫県（芸術文化観光専門職大学） 会員番号 070-0321
知事 井戸 敏三 入会：令和3年2月2日 固定 オーディオテクニカ…16 局
〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町 17-10
運用担当者 松谷 真利 TEL 078-362-3605 Eメール Masatoshi_Matsutani@pref.hyogo.lg.jp

● 株式会社キョードーファクトリー（箕面市立文化芸能劇場） 会員番号 070-0322
代表取締役 前田 三郎 入会：令和3年2月3日 固定 シュア…24 局
〒562-0035 大阪府箕面市船場東3-10-1
運用担当者 藤田 美樹 TEL 072-726-3000 Eメール m-fujita@kyodofactory.com

● 姫路市（姫路市文化コンベンションセンター） 会員番号 070-0323
市長 清元 秀泰 入会：令和3年3月4日 固定 シュア…49 局
〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町 143-2
運用担当者 岩本 義行 TEL 079-263-8082 Eメール himeji-ccc@c-linkage.co.jp

● 株式会社華王殿（ウエディングテラス） 会員番号 070-0324
代表取締役 大海 富生 入会：令和3年3月4日 固定 パナソニック…10 局
〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-35
運用担当者 濱田 誠 TEL 06-6395-4122 Eメール hamada@weddingterrace.jp

【ひとこと】三重県松阪市にて半世紀にわたり、婚礼施設等を運営する弊社が、2012年2月に関西初出店としてオープン致しましたゲストハウス型婚礼施設【ウエディングテラス】です。

中 国

● 山口市（山口市産業交流拠点施設）

会員番号 080-0071

市長 渡辺 純忠

入会：令和3年2月10日

固定

シユア…14局

〒754-0041 山口県山口市小郡令和1-1-1

運用担当者 吉松 美津枝

TEL 083-902-6727

Eメール yoshimatsu@c-linkage.co.jp

● 株式会社ちゅピ COM

会員番号 080-0072

代表取締役 浅井 幹夫

入会：令和3年3月3日

移動

ソニー…4局

〒730-0854 広島市中区土橋町7-1

運用担当者 小幡 時義

TEL 082-296-5560

Eメール hensei-tec@chupicom.co.jp



イベントの情報

今年は桜も早めの開花となりましたが、感染症も早めに居なくなってほしいものです。

展示会など、順次スケジュールが決まっていくとは思いますが、スケジュールが出ていた物をいくつかピックアップしてご紹介します。(4月5日現在の情報)

運用連絡は正確に、余裕をもって**日・祭日を除く2日前まで**にご連絡ください。

大規模な展示会等で業者が複数社混在する場合は、運用調整が複雑になる事が予想されます。さらに余裕をもってご連絡頂き、事前の調整にご協力ください。

イベント

日 程	イベント名	場 所
5月12日～14日	第12回 教育総合展	東京ビッグサイト
5月25日～27日	オリーブオイル関西 2021 ワインコレクション関西 2021	インテックス大阪
6月10日～11日	関西ロボットワールド 2021	インテックス大阪
6月17日～19日	アウトドアライフスタイルショー 感染症対策総合展 など同時4開催	ポートメッセなごや
7月7日～9日	ジャパンインターナショナルシーフードショー	東京ビッグサイト

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から 会員のみなさまへのお願い

会 期

オリンピック 令和3年7月23日（金）～8月8日（日）

パラリンピック 令和3年8月24日（火）～9月5日（日）

会 場

会場に関する情報は、下記のウェブサイトをご参照ください。

オリンピック <https://tokyo2020.org/ja/venues/>

パラリンピック <https://tokyo2020.org/ja/paralympics/venues/>

東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、東京エリアを中心に、北海道、宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県において開催されます。

令和3年6月から9月にかけて、競技会場及び会場周辺では、テレビホワイトスペース帯等で非常に多くのラジオマイクを使用する予定です。

上記期間に会場周辺にて特定ラジオマイクを使用されるご予定がある場合は、特ラ機構へご相談ください。

組織委員会においては、必要に応じて、互いに混信が生じないように、会員のみなさまに運用調整のお願いをさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

【本件の問い合わせ先】

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
テクノロジーサービス局 情報基盤部 石田・横出・畠山・永沼・伊藤
Eメール：spectrum@tokyo2020.jp



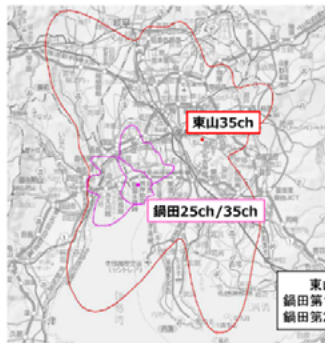
地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局での実証実験を進めております。昨年度はみなさまのご理解とご協力により計画していた検証を行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

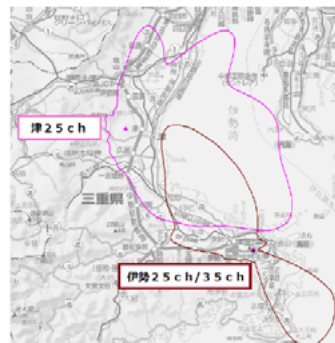
2021年度も、東京・名古屋・三重・大阪・福岡地区において、地上デジタル放送の高度化に向けた電波発射が計画されています。具体的な日程が決まりましたら改めてご連絡いたしますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(なお、東京地区は、テレビホワイトスペースの割当がないチャンネルを使用して実証実験を行っているため、運用調整の発生はありません。)

<特定ラジオマイクとの運用調整が必要となる範囲>



名古屋地区(東山局・鍋田局)



三重実験試験局(津局・伊勢局)



大阪地区



福岡地区

A-PABの「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時案内をしておりますので、上記の範囲で運用を予定されている皆様におかれましては、ご確認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<http://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページに開設している「地デジ4K・8K実験試験局情報」におきましても、電波発射スケジュールや運用調整など、特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしておりますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

追悼 八幡泰彦名誉会長を偲んで

特定ラジオマイク運用調整機構 理事長 渡邊 邦男

特ラ機構の名誉会長 八幡泰彦氏が 2021 年 2 月 25 日 享年 84 歳で亡くなりました。

ここに当機構を代表して、生前に賜りましたご厚情に深謝いたしますとともに、電波法改正に伴うラジオマイクの制度化に尽力して以来、長年に渡り常に先見の明を持って実用化に導いて頂いた八幡さんの足跡を、電波法の変遷と共にたどり、お別れの言葉とさせていただきます。

日本では、終戦から 5 年後の 1950 年に、電波法、放送法、電波監理委員会設置法の電波 3 法が施行されました。無線を使用する機器は、電波法の制度等が変わる度に、現場のニーズを踏まえた機器が開発され、使い勝手も向上し発展を遂げてきました。

ラジオマイク（通称：ワイヤレスマイク）も同様に、節目となる電波法の制度改正が機器の進歩や運用調整のシステム化につながり、現在では、ライブ公演やイベント、テレビ番組、映画の収録などにおいて、欠かすことの出来ない重要なアイテムとなっています。

1950 年（S25）に電波法が施行された後、1957 年（S32）に電波法・施行規則の改正がありました。ラジオマイクは免許を要しない微弱無線局として、昭和 40 年代～50 年代は 40MHz 帯、後半には 200MHz 帯も加わり、1972 年（S47）に UHF が割り当てられたことで、400MHz 帯のラジオマイクが登場し、急速に普及していきました。その後 400MHz 帯は、1986 年（S61）の電波法・施行規則改正や 1989 年（H 元）の設備規程改正などを横目に、1996 年（H8）5 月の経過措置の終了間際まで使われていました。1989 年（H 元）ラジオマイク用を含む特定小電力無線局が制度化され、その一環として、800MHz 帯を使用する陸上移動局の一種として、免許が必要な A 型特定ラジオマイクが制度化されました。

八幡さんは、この電波法改正の 2 年程前の 1984 年頃から当機構の前身となる特定ラジオマイク利用者連盟（以下：特ラ連）の設立に奔走し、ラジオマイクの運用の研究をおこない、現在私たちが使用している運用連絡調整システムの礎を築きました。その後、インイヤーマニターの制度化と実用化、ラジオマイクのデジタル化、そして法人化と TV ホワイトスペース・1.2GHz 帯への移行と矢継ぎ早に来るラジオマイク高度化の波を、持ち前の発想力とネットワークで会員を含むユーザーとメーカーのパイプ役となる研究会を立ち上げるなど、組織づくりを通して実運用に適したものにする努力を惜しみませんでした。

八幡さんは日頃から、ワイヤレスマイクの運用連絡数が、日本の文化密度を表すバロメーターだと言っていました。特ラ機構職員一同、八幡さんが築いた多大な功績に深く敬意を表すとともに、その志を継いで、文化芸術を支える特定ラジオマイクの安全な運用と発展に寄与していく所存です。

八幡さん、本当にありがとうございます。心からご冥福をお祈りします。 合掌



故・八幡泰彦名誉会長

特ラ機構レポート「バックナンバー 総目次」

https://www.radiomic.org/activity/index_all.html（特ラ機構ホームページ アドレスを参照）

[過去の特ラ機構レポート一覧（第 54 号～第 157 号）はこちら](#)

No.157 から下部方向にスクロールして、アンダーラインの文字をクリックして下さい。

八幡さんの寄稿文が参照できます。在りし日の恰幅の良い笑顔の八幡さんが蘇ると思います。

・No.55 H12.7.1（特ラ連 10 周年） > [- 3 - 特定ラジオマイクの 12 年](#)

・No.115 別冊（設立 20 周年記念特集号） > [- 1 - 巻頭言 八幡泰彦](#)

「追悼 八幡 泰彦氏」

特ラ機構 OB 大野 正夫

初めて八幡さんと会ったのは、今からザッと50数年まえのこと、わたしが立ち働いていたプロダクションのスタジオで、だった。

ある日、男が一人、「コンニチワ……」と、スタジオの重いドアを開けながら入ってきた。ナレーターではなさそうだし、どなたでしょうか？と私はきいた。

「サウンド・クラフトの八幡です」、と返事があり、効果の人だとすぐ理解した。制作の若者から聞いていた。まったく初対面とは思わせない喋りかたなのだ。

その日の仕事はスナリ納まった。特別むつかしい仕事ではなかったが、私の仕事を助けてくれるのはこの人の準備いかにかかっている。そう、TVコマーシャルの仕事だ。

二度目の時のこと。プロデューサーやディレクターから、八幡さんの仕事ぶりは聞いていた。狭い業界ゆえ、ウワサはすぐ流れる。

本人は気付いていたかどうか知らないが、ときどきハッとさせるのが、八幡さんである。

雨の効果音だった。フィルムを見て打ち合わせした時は、単なる雨の効果音だったが、ダビング当日、ディレクターが、小雨にしてくれと突然言い出した。

八幡さんはあわてることなく、音をしばって前のカットから出しますよ、とわたしに囁き、フィルムにあてた。結果、誰からの文句もなかった。

このように臨機応変な対応はなかなか出来ない。フツウの効果マンだと打ち合わせと違う、とごねるのだ。しかし八幡さんにしてみれば、日常茶飯事のことなのである。

瞬時に、一歩引いて考える、ということは凡人にはむつかしい。つまり眼の前のことにとらわれて余裕がないのである。八幡さんと話していると、こちらの考えていることなど、その裏まで見透されてアタフタすることが多い。

頭脳明晰・臨機応変。

それらを備えるべく努力すれど、簡単にはいかない。秘訣を訊いておくべきだったか。それは努力に尽きる、というだろうな。

合掌



「特定ラジオマイク利用者連盟」設立当時のメンバー。一番左が八幡氏



筆者（左）と八幡氏。酒を酌み交わしながら音について熱く語り合った。



出張に向かう車中にて。全国を飛びまわりテレビ局の皆さんと意見交換した。

八幡さんとの出会い

(株)アートウイズ 橋本 喜代志

私が (株)サウンドクラフト（以下：サンクラ）にアルバイトとして採用されたのは、1981年頃だったと思います。

従業員数も40名程だったと記憶しますが、私がすごく印象にあったのは、音響に関わる全ての物が揃っている事でした。コンサートや芝居やミュージカルを担うPAセクション、TVCMやポストプロダクションを中心にしたスタジオセクション、建築音響や音響施工をしている技術セクション、それからPAやスタジオの機材を修理したり、新規に設計して作ったりするセクションもありました。音響だけでなくイベントの制御系や同期等を通して将来のデジタル化の領域を見据えていた事も驚きでした（私が無知なだけです）。

何か困って質問をした時に革新的な答えを出せる人が必ず居て、そんなスペシャリストが、八幡社長の周りに集まっている。これは、お人柄も有るのだろうと強く感じていました。

1983年に正社員入社後は、そんな一員に加えてもらいましたが勉強させてもらうばかりでした。八幡さんからは、音響技術だけではなく、音響哲学と言うかちょっと違った角度からのアプローチを提案されたり、凝り固まった頭を打ち破る様なアドバイスを良く頂きました。

思い出すのは「君はここ（サンクラ）へ何をしに来たんだね？」と聞かれて答えられないでいると「君ねえ、答えが無いのは良く無いよ。」（答え＝想定）なんてやりとりもありました。

一番多く聞かされたのは多分、駄洒落だったとは思いますが……。

そんな八幡さんと一番多く関わったのは、ワイヤレスマイクとイヤモニターの事でした。1986年の電波法の改正に伴い、1989年にはラジオマイクが特定小電力無線局として制度化されました。いわゆる800MHz帯への移動に伴い1990年の特定ラジオマイク利用者連盟（以下：特ラ連）の発足。

この辺りからイヤモニターの海外動向とかを調べたり、PAS1996音響機器展の会場でENG用WLシステムの逆使い、2ピースの送信機にミキサーアウトにパッドをかけて信号を入力、バッテリー駆動の受信機をアーティストに持たせイヤホンで聞いてもらう物を郵政省の方も招いて見てもらったりして、日本でも特定小電力無線局としてステレオ搬送可能な物が必要で有ると陳情したりした事を思い出します。そして2000年にはイヤモニがやっと合法的に認められる事となり喜んだ事を思い出します。

何年だったか記憶に無いのですが、特ラ連の総会に来る様に言われて、出向くと来年度から理事をお願いしたいと聞き、私の様な若造に何が出来るのだろう？頭が真っ白になったのを思い出します。その時の特ラ連の理事長は、発足以来ホリプロの堀会長が務められていました。

堀会長が、お辞めになり、八幡さんが特ラ連の理事長になった日でもあります。



特ラ連（現 特ラ機構）の総会で理事挨拶する筆者（中央）。



特注の調整卓が納品され、早速チェックする八幡さん。



朝子夫人と。素敵な笑顔！

堀会長のご挨拶で、「特ラ連の発足には尽くしたが、これからは実際に使う人たちが運営して伸ばして欲しい」とのお言葉を聞き身が引き締まる思いだった事を思い出します。多分、次期理事長となる八幡さんも似た様な気持ちだったのではないのでしょうか。

それから時は流れて、2012年の周波数割当計画の告示があり、TV ホワイトスペース帯と 1.2GHz 帯への再び引っ越しと言う大きな出来事があったり、2014年一般社団法人化と特ラ機構に変わったりと過ごしてきましたが、この後に八幡さんの体調が徐々に弱くなるのを見ている事しか出来ないのが悲しかったです。久しぶりにお会いすると、言葉はありませんが車椅子に座って、ニヤッと笑ったり。また有る時は、突然涙を見せた事もありました。ですが、2021年2月25日、遂にこんな日が来てしまうなんて、想像もつきませんでした。

本当に 84 歳までお疲れ様でした。ゆっくりと休んでいただきたいと思います。

そんな八幡さんの所の一員になれたのかと考えると、未だ足元にも及ばない私です。

3月4日（告別式）に最後のお別れをして来ました。

「ありがとうございました」。ただ一言、声を掛けて帰ってまいりました。



正月にサンクラ社屋前でパチリ（1983年）。毎年の恒例行事。

八幡 泰彦 プロフィールと業績

略 歴

- 1936 (昭和 11) 年 10 月 東京牛込で生まれる
- 1963 (昭和 38) 年 3 月 早稲田大学 文学部演劇専修課程 卒
- 1959 (昭和 34) 年 10 月 園田音響効果研究所 入所
舞台音響効果、テレビ番組の選曲・効果業務に従事
- 1963 (昭和 38) 年 11 月 園田音響効果研究所 退所
- 1964 (昭和 39) 年 3 月 東京電子株式会社 入社 技術課勤務
- 1965 (昭和 40) 年 3 月 独立し音響企画制作をおこなう
- 1966 (昭和 41) 年 10 月 有限会社サウンドクラフト (現 株式会社 エス・シー・アライアンス)
設立 取締役社長 就任
- 1990 (平成 2) 年 7 月 特定ラジオマイク利用者連盟 (現 一般社団法人 特定ラジオマイク
運用調整機構) 設立
 - 1994 年 7 月～ 2010 年 6 月 理 事 長
 - 2010 年 6 月～ 会 長
 - 2020 年 6 月～ 名誉会長
- 2021 (令和 3) 年 2 月 永眠 (享年 84 歳)

主な業績

■ 上 演

- 1959 年 シラノ ド ベルジュラック (松浦竹雄 演出・園田芳龍 音響プラン
歌舞伎座公演にオペレータとして)
- 1965 年～木馬座舞台公演に参加 (藤城清治 主宰) カエルの冒険 他 影絵作品
その後の舞台・TV 作品他の音響担当
- 1971 年～現在 劇団NL T上演作品 「ササfrasの枝にそよぐ風」 (利光哲男・賀原夏子 演出)
ほか音響担当
- 1975 年 いずみたくフォーリーズ公演 「死神」 (藤田敏雄 演出) ～ 「船長」 公演ほか音響担当
- 1975 年 劇団四季 公演 「アプローズ」 ほか 音響担当
- 1975 年 西武劇場制作 「ショウガール」 以降、福田陽一郎演出作品に音響スタッフとして参加



特ラ連設立当時の打ち合わせ風景
(事務局にて)



慰安旅行で根本元事務局長と。



特ラ連セミナー

- 1982 年 斎藤憐作品「イカルガの祭り」(本多劇場)
「バーレスク 1931 赤い風車のあった町」(PARCO 西武劇場) 他 音響担当
- 1984 年 コマ劇場制作「ピーターパン」「竹取物語」公演(福田善之 演出) 音響担当
- 1986 年 群馬県新田町 アリエスホール落成記念
伊東正示作・大野晃企画・塚晴彦演出「森のデュエット」音響担当
以降 塚晴彦演出作品 音響プラン担当 泉鏡花「高野聖」「夜行巡査」「歌行燈」
川口松太郎「鶴八鶴次郎」 伊藤左千夫「野菊の墓」ほか
- 1986 年～ 2013 年 主に無名塾公演「プアーマダラー」「ルパン」「令嬢ジュリー」以降の各作品
「ロメオとジュリエット」(能登演劇堂公演 以後全国巡演) 音響担当
- 2010 年 劇団青年座イヨネスコ上演委員会「禿の女歌手」作＝ウジェーヌ・イヨネスコ
台本・演出＝石澤秀二(座・高円寺2) 音響プラン



電波の日・情報通信月間式典



日本演劇興行協会 助成金授与式

■ 著作・論文

- 「新 PA テクニック」(1978 年 5 月～ 12 月 月刊「無線と実験」連載)
- 「JR の発車ベルについて」(1992 年 5 月 日本音響学会誌)
- 「PA における良い音の考え方について」(1996 年 6 月 日本音響学会誌)
- 「PA、SR のための調整卓の問題点」(1996 年 7 月 「放送技術」)
- 「私とマイクロフォン」(2003 年 9 月 特ラ連レポート)
- 「物音の哲学」(2005 年 7 月 日本音響学会)
- 「劇場・ホールにおける電気音響設備の現状」(2007 年 4 月 日本音響学会誌)
- 「劇場とワイヤレスマイクロフォン」(2007 年 9 月 特ラ連レポート)
- 「私の来た路」(2008 年 1 月～ 2011 年 7 月 特ラ連レポート 連載)
- 「舞台音響の創世記を語る パネルディスカッション」(2008 年 6 月 Stage Sound Journal 誌)

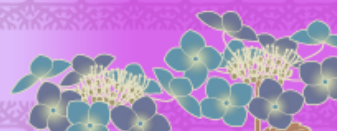


特ラ機構技術賞表彰式で受賞者の皆さんと。



いつも朝子夫人が優しく寄り添われていた。

事務局便り



■旧スプリアス規格の B 帯 /C 帯のラジオマイクをご利用の会員にお知らせ

総務省では新型コロナウイルスの影響を鑑みて、新スプリアス規格対応機種への移行完了期限の延長を検討中です。現在の検討内容は下記 URL をご参照下さい。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban12_02000124.html

免許が必要な**特定ラジオマイク**については周波数移行時に全て新スプリアス規格の機材に切り替わっていますが、免許不要の B 帯、C 帯もご利用の会員様は、旧スプリアス規格の機材が混在している場合があります。

対象機などは各メーカーのホームページなどで告知を行っていますので直接ご確認、お問合せ願います。

■再免許状のお届け

令和 3 年 5 月 31 日に有効期限を迎え、事務局扱いでマイクの免許更新手続きをした新免許状は、5 月下旬に各総合通信局から事務局へ届く予定です。事務局では必要なデータを記録した後、当該会員のご担当者宛に送付させていただきます。

免許状がお手元に届きましたら、記載内容を必ずご確認ください。新免許状の記載内容にご不明な点がある場合、また免許状が届かない等お気付きの事がありましたら、事務局免許担当の石川または渡辺きよかまでご連絡下さい

編集後記

今回は、当機構八幡名誉会長の追悼記事をゆかりのあった方々に書いていただきました。

音響業界の歴史、仕事に向き合う姿勢、多大な功績、ダジャレ好きでチャーミングな一面等、皆さんに愛され尊敬されたお人柄が読んでいて伝わってきたと思います。

私が思い出すのは恵比寿様のような優しい笑顔です。カリスマ性があり、あたたかく魅力的な方でした。

特ラ機構レポート 100 号から連載がスタートした『私の来た路』を当機構 HP、特ラ機構レポートのバックナンバーで読むことが出来ますので是非読んでいただければと思います。必ず得られるものがあると思います。

(松崎)



初めて八幡会長（一番左）とおさまった思い出の1枚。（新宿厚生年金会館 閉館行事にて特ラ連メンバーと。2010年3月）